

意外と知らないシリーズ

カレード市民
歴史講座

こくふ

ざいちょうかんじん

「国府とか在庁官人」

教科書で勉強するけど…

実は詳しく説明できなかったり？

こくふ

「**国府**」は今でいうところの県庁、

こくし

「**国司**」は今でいうところの知事に

例えるけど…似て非なるもの？

今回は奈良時代・平安時代をテーマに
深掘りしていきます！

さらにセットで、日本古来の遊び

ばんすごろく

「**盤双六**」と「**かりうち**」の2つを

体験できます！

日時：2025年9月27日（土）14:00～16:10

場所：学びの杜のいちカレード／研修室・会議室

定員：30名

ご予約・お問い合わせ先：076-248-8099

※お申込みいただいた個人情報とは当催事及び当館からのお知らせにのみ使用します。



【現代にも伝わる「^{ばんすごろく}盤双六」】

飛鳥時代には、既に大ブームとなっていたようで財産を賭けた壮絶なバトルが行われたため、双六禁止令が出されています。その後禁止令が何度も出されていることから人々の双六熱は冷めることがなかったのでしょう。

【奈良時代の盤上遊戯「^{ばんじょうゆうぎ}かりうち」】

遺跡から見つかった土器を下敷きに復元されたゲームです。発掘されたのは「出」という字と「点」が刻まれた土器です。この摩訶不思議な記号は研究の末、韓国で遊ばれている「ユンノリ」というゲームに類似性があると見出されました。『万葉集』にもユンノリと思しき言葉遊びが散見され、また『倭名類聚抄』には、ユンノリと同タイプの用具を使用すると目される遊戯、「加利字智（かりうち）」について記載されています。